

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 ガラスクロス #200-S
会社名 株式会社 エービーシー商会
住所 〒100-0014
東京都千代田区永田町2-12-14
担当部門 化成品事業部
電話番号 03-3507-7176
FAX番号 03-3507-7178
緊急連絡先 03-3507-7176(直通)
作成 2021年 6月 10日
改訂 年 月 日
整理番号 ME0-49911

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性
区分に該当しない

健康に対する有害性

・皮膚腐食性／刺激性 区分2
・特定標的臓器（単回ばく露） 区分3

GHSラベル要素

絵表記



※ ガラス繊維製品は、労働安全衛生法上の名称等を通知すべき有害物質には含まれませんので、製品ラベルの絵表示は行っておりません。

注意喚起語 警告

危険有害性情報

・皮膚刺激
・眼刺激
・呼吸系系への刺激のおそれ

国、地域情報

・消防法 非危険物

注意書き

安全対策

・すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
・この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
・容器を密閉しておくこと。
・熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること－禁煙。
・着火源となる恐れのある機械等の使用を避けること。
・個人用保護具や換気装置を使用し、ばく露を避けること。
・保護手袋、保護眼鏡、保護マスクを着用すること。
・屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。
・換気が十分でない場合には呼吸用保護具を着用すること。
・ミスト／蒸気を吸入しないこと。
・取扱い後はよく手を洗うこと。
・環境への放出を避けること。

保管

・日光から遮断して容器を密閉し換気の良い場所で施錠して保管すること。

廃棄

・内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に

応急措置

・火災時には、炭酸ガス、泡又は粉末消火器を用いて下さい。
・吸入した場合、空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸をしやすい姿勢で休息させ、医師の診断／手当てを受けること。
・飲み込んだ場合、無理して吐かせず、口をすすぎ、医師の診断／手当てを受けること。
・眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。眼の痛みが続く場合は、医師の診断／手当てを受けること。
・皮膚（又は毛髪）に付着した場合、直ちに、すべての汚染された衣類を取り除き、多量の水と石鹸で洗うこと。
・皮膚刺激があるときは、医師の診断／手当てを受けること。
・ばく露又はその懸念がある場合や、気分が悪いときは、医師の診断／手当てを受けること。
・漏出したときは、漏出物を回収すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

化学名	含有量 (%)	官報公示番号		CAS No.
		化審法	安衛法	
7μm以下珪ガラス	>99.6	該当なし	該当なし	65997-17-3

4. 応急措置

吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪いときは医師に相談すること。

皮膚に付着した場合 : 絶対にこすらないで下さい。皮膚に刺さった場合は毛抜きで刺さったガラス繊維を折らないよう注意して抜いて下さい。最初に流水で洗い次いで温水で石鹸で洗って下さい。入浴は、ガラス繊維を除去するのに効果があります。

眼に入った場合 : 清浄な水で最低15分間、洗い流してください。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すことその後も洗浄を続けること。もし、眼への刺激が続く場合は医師の診断を受けて下さい。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 : ガラス繊維自体は、水・炭酸ガス・泡・ドライケミカル粉末のいずれも有効です。
但し、周りの状況（発火原因など）によって適切な消火剤を選定してください。

消火方法 : 通常の消火方法をとってください。

その他の情報 : ガラス繊維自体は不燃性ですが、繊維状に化工した集束剤や表面処理剤は可燃性です。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、	： 必要に応じて、保護マスク・保護手袋・保護眼鏡を着用すること。
環境に対する注意事項	： 特に無し
封じ込め及び浄化方法	： 床面などにこぼれた場合は、速やかに粉塵が飛散しないように静かに清掃し、空容器や袋等に
及び機材	： 詰めて一般産業廃棄物と同様の扱いとする。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	： 保護具を用いて皮膚や眼等への接触を避ける。必要に応じ手袋・保護眼鏡（ゴーグルタイプが望ましい） 防塵マスク（国家検定品：取替式・使い捨て式）をお使いください。
保管	
安全な保管条件	： 製品は直射日光が当たらず、高温多湿とならない屋内に保管して下さい。保管条件が不適切な 場合には、ガラス繊維製品を集束剤や表面処理剤などの加工剤に変質が生じ、所定の性能が 得られなくなる場合があります。
安全な容器包装材料	： 情報なし。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度・許容濃度	成 分	管理濃度	許容濃度	
		作業環境評価基準	日本産業衛生学会	ACGIH (TWA)
		2.9mg/m ³ M=2.9 / (0.22Q+1) M 管理濃度 (単位 mg/m ³) Q 当該粉じんの遊離けい 酸含有率 (単位 パーセン ト)	第3種粉塵 吸入性粉塵 2mg/m ³	第3種粉塵 2mg/m ³
設備対策	： 粉塵を発生する切断・研磨の作業、ミルドファイバー等の粉体状の製品の取扱い作業などを行う 場所には、局所排気装置を設置して下さい。設置が困難な場所でこれらの作業を行う場合には 防塵マスク 国家検定品 を着用して下さい また、洗顔・洗身・うがい・更衣・洗濯設備等の設置も望ましい。			
保護具	： 下記に示す保護具の着用を推奨する。 ・呼吸用保護具 ： 必要に応じて防塵マスク（国家検定品）の着用が望ましい。 ・保護眼鏡 ： 必要に応じ保護眼鏡 ゴーグルタイプ の着用が望ましい。 ・保護手袋 ： 皮手袋等ガラス繊維を通しにくいものの着用が望ましい。 ・保護衣 ： 長袖（手首締まったもの、ゆったりしたもの）、長ズボン（足首の締まったもの） の作業着を推奨する。			

9. 物理的及び化学的性質

外観等	： 白色のガラス繊維集合体	爆発範囲	： 情報なし
臭気	： 無臭	蒸気圧	： 情報なし
pH	： 情報なし	蒸気密度	： 情報なし
融点	： 約840℃（軟化点）	蒸発速度	： 情報なし
沸点	： 情報なし	比重	： 約2.5（塊状）
引火点	： 情報なし	溶解性	： 水にほとんど溶けない
発火点	： 情報なし	ワタ/水/水分配係数	： 情報なし
燃焼性	： 情報なし	分解温度	： 情報なし

10. 安定性及び反応性

反応性	： 化学的に安定で反応性なし	化学的安定性	： 化学的に安定で反応性なし
危険有害反応可能性	： ガラス繊維自体は不燃性ですが、繊維上に加工した集束剤や表面処理剤は一般に可燃性で 燃焼時の分解生成物として、炭酸ガス・水の発生が予想されます。		

11. 有害性情報（人についての症例・免疫的情報を含む）

別紙「有害性情報一覧」参照。

12. 環境影響情報

製品として				
生態毒性				
水生環境有害性	短期（急性）	：	情報なし	
水生環境有害性	短期（慢性）	：	情報なし	
残留性/分解性		：	情報なし	
生体蓄積性		：	情報なし	
		土壌中の移動性	：	情報なし
		他の有害影響	：	情報なし

13. 廃棄上の注意

都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託する。

14. 輸送上の注意

輸送時は直射日光が当たらないようにし、容器からの漏れがないことを確かめ、転倒・落下・損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。			
国連分類	: 該当しない	国連番号	: 該当しない
容器等級	: 該当しない	国連輸送名	: 該当しない
海洋汚染物質	: 環境有害物質に該当しない		
陸上輸送			
・消防法	: 非危険物		
・毒劇物取締法	: 該当しない		
・高圧ガス保安法	: 該当しない		
海上輸送			
・船舶安全法	: 該当しない		

航空輸送
・航空法 : 該当しない
緊急時応急措置指針番号 : 該当しない

15. 適用法令

化審法 : ・ 法第2条(特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質)
優先評価化学物質
該当しない

労働安全衛生法 : ・ 施行令 別表第3、特定化学物質障害予防規則第2条
該当しない
・ 施行令 別表第6の2、有機溶剤中毒予防規則第1条の1
該当しない
・ 施行令 別表第1(危険物)
該当しない
・ 法第57条、施行令第18条 別表第9(名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物)
該当しない
・ 労働基準局長通達(平成5年5月17日 基発第312号の3 変異原性が認められた化学物質)
該当しない
・ 法第28条第3項の規定に基づき厚生労働大臣が定める化学物質を定める告示(健康障害防止指針公表物質)
該当しない
・ 法第65条の1、施行令第21条 別表第3、別表第6の2(作業環境測定)
該当しない

大気汚染防止法 : ・ 法第2条の1の3、施行令第1条(有害物質)
該当しない
・ 法第17条の1、施行令第10条(特定物質)
該当しない
・ 法第2条の13(中央環境審議会第9次答申、有害大気汚染物質)
該当しない

水質汚濁防止法 : ・ 法第2条の2の1、施行令第2条
該当しない

悪臭防止法 : ・ 法第2条の1、施行令第1条(特定悪臭物質)
該当しない

消防法 : ・ 法第2条の7 別表第1(危険物)
非危険物

毒劇物取締法 : ・ 法第2条 別表第1～3、施行規則第4条の2 別表第1
該当しない

海洋汚染防止法 : ・ 危規則告示別表第1 備考1(4)、備考2(8)(環境有害物質)
環境有害物質に該当しない

船舶安全法 : ・ 危規則告示別表第1
該当しない

航空法 : ・ 法第86条、施行規則第194条
該当しない

P R T R法 : ・ 法第2条の2、施行令第1条 別表第1(第1種指定化学物質)
該当しない

16. その他の情報

主な引用文献 : ・ GHS対応ガイドライン ラベル及び表示・安全データシート作成指針 (社)日本化学工業協会編 (2019年 6月)
・ 各原材料製造会社発行の「安全データシート」

記載事項の問い合わせ先 : 株式会社エービーシー商会 化成品事業部 TEL 03-3507-7176

本製品の安全データシートは、当社の製品を安全に使用して頂くための注意事項を簡潔にまとめたものです。
本製品の適正な使用については、使用者の責任において行って下さい。

有害性情報一覧

有害性項目		主要成分	製品	主要成分								
				アルミナ珪酸ガラス								
急性毒性	経口 (LD ₅₀)	分類できない	分類できない 情報なし									
	経皮 (LD ₅₀)	分類できない	分類できない 情報なし									
	吸入：蒸気 (LC ₅₀)	分類できない	分類できない 情報なし									
	吸入：ミスト (LC ₅₀)	分類できない	分類できない 情報なし									
皮膚腐食性/刺激性		区分2	分類できない									
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性		区分2B	分類できない									
呼吸器感作性		分類できない	分類できない									
皮膚感作性		分類できない	分類できない									
生殖細胞変異原性		分類できない	分類できない									
発がん性		分類できない	分類できない									
生殖毒性		分類できない	分類できない									
特定標的臓器毒性	単回ばく露	区分3	分類できない									
	反復ばく露	分類できない	分類できない									
誤えん有害性		分類できない	分類できない									